



▼米ファイザー社の新型コロナウイルスワクチン接種を受ける高齢者



接種を終えた岩野幸子さん（仁田子区）は「思ったほど痛みも無く、スムーズに接種を終えられて良かった。コロナ禍が早く収まるとうれいですね」と笑顔を見せました。

町では、5月25日時点で高齢者など1750人の接種（1回目）が完了しています。

## 進む高齢者のワクチン接種

### 新型コロナウイルスワクチン集団接種

5月5日（水）新型コロナウイルスワクチンの集団接種が町総合保健福祉センターで始まり、対象者100人が1回目の接種を行いました。

午前9時の開場と共に町からの案内はがきが届いた高齢者が順次来場し、スタッフの案内に従って、ワクチンの接種を済ませました。

接種初日の会場では多少の混雑が見られたものの大きなトラブルもなく無事終了。町健康推進課の福島明広課長は「無事に初日を迎えることができて良かった。町内の医療関係機関などと連携しながらワクチン接種を進めていきたい」と話しました。

## 棚田を舞う命の輝き

### 源氏蛍が照らす山間部の原風景

5月中旬、町内各地の小川でゲンジボタルの飛翔がはじまり、地域住民の目を楽しませてくれています。

5年前の豪雨災害で大量の土砂が流入した安平川では、水質や生息環境の変化などにより生息数が激減。一昨年に河川および田畑の災害復旧が完了したことなどから数が回復し、以前の輝きを取り戻しつつあります。

山本勝一さん（安平区）は「子どものころから見慣れた風景が戻ってきたことがうれしいですね」と飛び交う蛍火に目を細めました。



▲棚田が広がる安平川流域を舞うゲンジボタル（5月12日撮影）



▲バケツを使って稚アユを順番に放流する児童ら

## 緑川で元気に育って！

### 甲佐小児童が稚アユを緑川に放流

4月30日（金）中甲橋グリーンパークで、甲佐小学校（武永春美校長）の3・4年生70人が稚アユの放流を体験しました。

水環境の大切さを子どもたちに伝えるためにサントリー九州熊本工場（嘉島町）が2005年から毎年実施。緑川漁業協同組合（小松野大樹代表理事組合長）の協力の下、体長6〜7センチに成長した稚アユ約3万5千匹を放流しました。

児童たちは元気に育ってねと声を掛けながら優しく放流。馬場美蘭くん（甲佐小4年・有安区）は「元気に泳ぐ稚アユたちが育つ緑川を大切にしていきたい」と笑顔で話しました。

## 地域の魅力を再発見

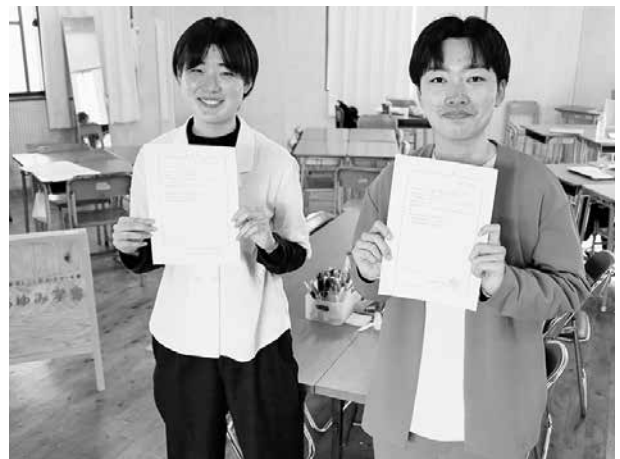
下豊内公民館で展示会を開催

5月2日（日）から5日（水）の大型連休中、下豊内公民館で各家庭の自慢の逸品を持ち寄ったユニークな展示会が行われました。

甲斐隆下豊内区長が、コロナ禍で交流が難しい中、地域を改めて知るきっかけになればと企画。住民らに呼び掛け、区民30人から出品された書道や生け花、絵画などの文化作品や家庭に伝わる古地図や古文書、大工道具などのアンティークなど95点を展示。子どもたちが立ち寄る様子も見られ、地域の隠れた魅力を再発見する機会となりました。



▲住民らが持ち寄った自慢の逸品が並んだ下豊内公民館



▲辞令書を手に笑顔を見せる治金さん（左）と面田さん

## 甲佐高生と地域をつなぐ

町公営塾「あゆみ学舎」スタッフに辞令書交付

5月6日（木）町公営塾「あゆみ学舎」の運営に取り組み甲佐町地域おこし協力隊の2人へ辞令書が交付されました。同隊は、地域活性化を目的として都市住民などを受け入れ、住民の生活支援などの地域協力活動を行うもの。

本町では甲佐高校の魅力化事業の一環として同校生徒への教育支援などに、治金わかかなさん（京都府出身・大町区）と面田太陽さん（京都府出身・大町区）が取り組んでいます。

治金さんは「甲佐高生を地域の皆さんに知ってもらうきっかけづくりを進めたいです」と今年度の抱負を話しました。

## ソフトボール九州大会で優勝

小柳監督（横田区）と高森選手（糸田区）が勝利をつかむ



▲水保市で行われた全九州春季ソフトボール大会で宇土高校ソフトボール部の初優勝に貢献した小柳監督（左）と高森選手

5月8日（土）～9日（日）にエコパーク水保（水保市）で開催された第22回全九州高等学校男子春季ソフトボール大会に小柳良介監督（宇土高校教員・横田区）と高森健斗選手（宇土高校2年・糸田区）が参加しました。

宇土高校は九州各県の代表16チームで競う同大会で牛津高校（佐賀）に8対0で勝利。続く日向工業高校（宮崎）も接戦を2対1で制してベスト4へ勝ち進みました。しかし、同日、新たに確認された新型コロナウイルス感染者が福岡県で500人、熊本県でも100人を超える中、急ぎよ、大会2日目を行わず4校同時優勝とすることが決定。熊本工業高校（熊本）、島原工業高校（長崎）、大村工業高校（長崎）と共に同校が初優勝に輝きました。

チームを指揮した小柳監督は「県大会からの短い期間でも選手たちが試合ごとに成長してくれました」と大会を回想。高森選手は「強豪校との試合で得た経験をチームのレベルアップにつなげたいです」と高校総体への意気込みを話しました。